令和2年度　決算の概要

1　普通会計決算

令和2年度は新型コロナウィルス感染症関連対策を講じたことにより歳入歳出は増加となった。地方交付税は増加（133，068千円）し、行財政改革の成果により実質収支は黒字を確保。経常収支比率は0.6ポイント改善した。各種指標等についても概ね良好。

■歳入　24，648，328千円（対前年度3，991，677千円、19．3％）
・国庫支出金は2，198，506千円（93．6％）の増加。これは、新型コロナウィルス感染症対策の関連事業である特別定額給付金給付事業、新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の増加や公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業等による増加
・地方税収入は新型コロナウィルス感染症の影響等による減収（Δ40，021千円、Δ2％）
・公共事業等に係る地方債発行は増（941，806千円、38．7％）

■歳出　23，910，938千円（対前年度4，031，325千円、20．3％）
・補助費等は（2，470，174千円、160．3％）の増加。これは新型コロナウィルス感染症対策の関連事業の特別定額給付金給付事業、小規模事業者等経営維持支援事業、プレミアム付商品券事業、竹田市事業継続支援金事業等が主な要因

■実質収支	R1	563，960千円（黒字）	→	R2　404，380千円（黒字）
■単年度収支	R1	44，107千円（黒字）	→	R2　Δ159，580千円（赤字）
■実質単年度収支	R1	317，540千円（黒字）	→	R2　Δ254，217千円（赤字）

■自主財源の比率
自主財源の比率が26．2％で、国・県への依存度が高い。
自主財源比率（財政力指数）R1　25．8％　→　R2　26．2％

■経常収支比率は96．2％。前年度より0．6％改善。
義務的経費の比率は56．0％と依然財政の硬直性が高い。
経常収支比率　R1　96．8％　→　R2　96．2％

■地方債現在高は1，645，793千円の増。
積立金現在高は減少し対前年度比　△10．7％

2　健全化判断比率及び資金不足比率

■実質赤字比率及び連結実質赤字比率はなし。

■実質公債費比率は4．3％で前年度比△0．2ポイント。

■将来負担比率は24．9％。

■資金不足比率が生じている公営企業会計なし

令和２年度　普通会計の決算概要

（普通会計を構成する３会計：一般会計、市立こども診療所特別会計、長湯温泉療養文化館特別会計）

１．決算の概要

（単位：千円、%）

区　　分		R2年度決算額	R1年度決算額	増減（R2－R1）
歳　入　総　額	a	24,648,328	20,656,651	3,991,677
歳　出　総　額	b	23,910,938	19,879,613	4,031,325
形式収支（a－b）	c	737,390	777,038	△ 39,648
翌年度繰越財源	d	333,010	213,078	119,932
実質収支（c－d）	e	404,380	563,960	△ 159,579
単年度収支	f	△ 159,579	723,539	△ 883,118
財調積立金	g	205,363	273,433	△ 68,070
繰上償還金	h	0	0	0
積立金取崩額	i	300,000	0	300,000
実質単年度収支（f+g+h-i）		△ 254,216	996,972	△ 1,251,188
標 準 財 政 規 模		9,625,571	9,447,077	178,494
実 質 収 支 比 率		4.2	6.0	△ 1.8

２．財政構造の弾力性

（単位：千円、%）

区　　分		R2年度決算額	R1年度決算額	増減（R2－R1）
義務的経費構成比		31.3	37.9	△ 6.6
	人　件　費	13.8	17.2	△ 3.4
経常収支比率		96.2	96.8	△ 0.6
	人　件　費	31.0	31.5	△ 0.5
	扶　助　費	6.7	7.1	△ 0.4
	公　債　費	18.3	18.1	0.2
実質公債費比率		4.3	4.5	△ 0.2
地方債現在高		18,464,143	16,818,350	1,645,793
	現債高倍率	1.920	1.780	0.140

※経常収支比率は、臨時財政対策債を経常一般財源に加えた数値。

【参考】将来負担比率	R2年度決算額	R1年度決算額	増減（R2－R1）
将来負担比率	24.9	36.9	△ 12.0

３．積立金の状況

（単位：千円）

区　　分	R2年度決算額	R1年度決算額	増減（R2－R1）
財政調整基金	3,365,882	3,460,519	△ 94,637
減債基金	422,897	522,100	△ 99,203
小計	3,788,779	3,982,619	△ 193,840
その他特定目的金	3,240,544	3,888,223	△ 647,679
合計	7,029,323	7,870,842	△ 841,519

４．分析コメント

①実質収支は404,380千円で、前年度に比べ159,580千円減少しました。竹田市基金条例に基づき、この内1/2を下回らない額（210,000千円）を減債基金に積み立てます。

②経常収支比率は、96.2%で前年度の96.8%から0.6ポイント改善しました。これは、経常一般財源の74,493千円増加に対する経常経費充当一般財源の10,113千円増加によるものです。経常一般財源の人件費は22,688千円、扶助費28,563千円がそれぞれ減少し、公債費は30,169千円増加しています。

③実質公債費比率は4.3%で、前年度に比べて0.2ポイント改善しました。これは、標準財政規模が単年度で対前年度比1.9%増加したことや、H30年度単年度の公債費比率が4.6%であったもののR1単年度実質公債費比率が4.0%であったことから、3か年平均では0.2%減少しました。

主な財政指標等の推移

①職員数の推移
基準日:4/1
（単位:人）

	職員定数	普通会計
H17	522	487
H18	516	482
H19	495	459
H20	477	440
H21	460	424
H22	435	402
H23	429	396
H24	421	388
H25	410	377
H26	390	358
H27	378	347
H28	362	330
H29	352	320
H30	348	320
R1	346	316
R2	335	306
増減率 H17→R2	-35.8%	-37.2%

②基金現在高
基準日:年度末
（単位:千円）

	合計	財政調整基金	減債基金	特定目的基金	
H17	6,473,842	2,160,654	696,861	3,616,327	
H18	7,042,082	2,172,164	217,152	4,652,766	8.8%
H19	6,836,453	1,897,103	367,739	4,571,611	-2.9%
H20	6,592,632	1,507,782	369,216	4,715,634	-3.6%
H21	6,938,807	2,030,704	370,459	4,537,644	5.3%
H22	8,525,777	3,250,855	370,976	4,903,946	22.9%
H23	9,181,835	3,654,246	399,637	5,127,952	7.7%
H24	8,858,941	3,477,470	341,428	5,040,043	-3.5%
H25	9,626,458	3,681,098	376,414	5,568,946	8.7%
H26	9,858,652	3,761,706	519,575	5,577,371	2.4%
H27	9,925,298	4,019,627	592,055	5,313,616	0.7%
H28	9,552,575	3,874,267	746,299	4,932,009	-3.8%
H29	9,001,386	3,382,664	717,919	4,900,803	-5.8%
H30	8,354,835	3,187,086	768,859	4,398,890	-7.2%
R1	7,870,842	3,460,519	522,100	3,888,223	-5.8%
R2	7,029,323	3,365,882	422,897	3,240,544	-10.7%
	8.6%	55.8%	-39.3%	-10.4%	増減率 H17→R2

③地方債現在高
基準日:年度末
（単位:千円）

	合計	
H17	23,203,665	
H18	23,795,648	2.6%
H19	22,690,452	-4.6%
H20	21,543,820	-5.1%
H21	22,567,685	4.8%
H22	21,330,228	-5.5%
H23	20,217,243	-5.2%
H24	18,594,026	-8.0%
H25	17,751,795	-4.5%
H26	16,687,090	-6.0%
H27	15,577,005	-6.7%
H28	14,700,373	-5.6%
H29	14,790,229	0.6%
H30	16,074,846	8.7%
R1	16,818,350	4.6%
R2	18,464,143	9.8%
	-20.4%	増減率 H17→R2

④経常収支比率
実質公債費比率
将来負担比率
（単位:%）

	経常収支比率	実質公債費比率	将来負担比率
H17	101.3		
H18	99.9		
H19	100.9	12.4	101.8
H20	97.7	12.1	100.4
H21	94.3	11.6	90.5
H22	86.2	10.2	57.2
H23	89.8	9.0	44.5
H24	91.8	7.4	40.5
H25	87.4	6.2	23.4
H26	87.3	5.2	11.8
H27	88.8	4.5	2.4
H28	93.2	4.4	-2.8
H29	91.7	4.5	5.9
H30	97.1	4.7	10.5
R1	96.8	4.5	36.9
R2	96.2	4.3	24.9

⑤主な歳出決算額の推移
（単位:千円）

	合計	人件費	うち職員給	公債費	普通建設事業費	災害復旧事業費
H17	23,032,171	4,860,776	3,261,143	2,897,523	2,305,120	1,289,024
H18	18,755,011	4,709,058	3,099,028	2,842,448	1,882,293	1,575,950
H19	16,742,243	4,619,171	3,011,220	2,924,096	2,219,746	868,049
H20	17,115,809	4,451,986	2,822,607	2,768,490	1,943,260	1,043,200
H21	20,992,022	4,520,717	2,640,242	2,819,517	5,601,396	245,376
H22	17,374,691	3,826,683	2,441,631	2,825,727	2,303,827	83,331
H23	18,106,336	4,011,015	2,430,251	2,706,963	2,391,431	185,501
H24	18,621,841	4,112,159	2,469,239	2,742,501	1,597,097	1,622,871
H25	21,553,504	3,868,565	2,224,499	2,472,768	2,606,633	3,459,295
H26	20,201,218	3,686,605	2,224,297	2,229,541	2,754,786	2,037,315
H27	18,133,320	3,844,008	2,201,388	2,100,393	2,374,637	235,994
H28	19,528,350	3,625,520	2,054,424	2,052,285	3,456,551	590,526
H29	19,970,489	3,278,274	1,964,810	2,010,756	4,260,890	835,519
H30	21,060,337	3,440,026	1,933,056	1,906,495	5,677,587	783,364
R1	19,879,613	3,427,582	1,937,083	1,771,441	4,538,347	410,313
R2	23,910,938	3,288,184	1,942,096	1,791,550	5,200,053	778,429

⑥地方交付税の推移
（単位:千円）

	普通交付税	特別交付税
H17	7,191,889	1,049,099
H18	7,036,642	952,055
H19	6,915,146	923,016
H20	7,177,293	927,807
H21	7,485,757	956,244
H22	8,237,437	1,011,617
H23	8,191,132	985,207
H24	8,183,597	1,379,136
H25	8,157,708	1,035,550
H26	7,995,419	1,024,470
H27	7,968,502	1,013,415
H28	7,538,063	1,044,359
H29	7,132,757	1,013,387
H30	6,637,132	949,329
R1	6,490,396	913,733
R2	6,549,334	987,863

◆地方消費税率引き上げの使途

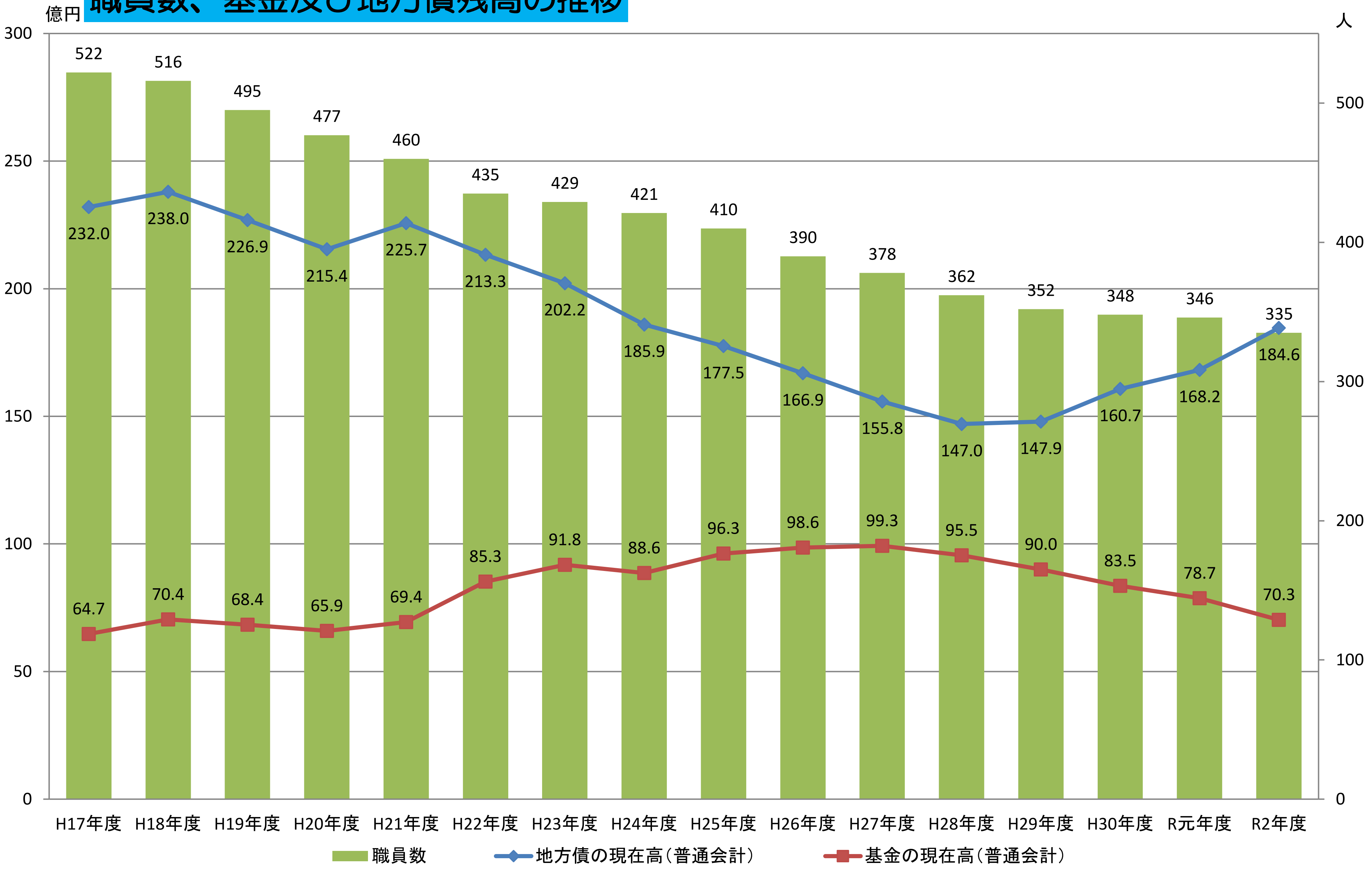
（歳入）
・地方消費税交付金（社会保障財源化分） 253,207 千円

（歳出）
・社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 3,353,449 千円

【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費：決算額】 （単位：千円）

区分		経　費	財源内訳				
			特定財源			一般財源	
			国（県）支出金	市債	その他	社会保障財源化分の市町村交付金	その他
社会福祉	障害者福祉事業	644,824	537,698			16,000	91,126
	高齢者福祉事業	168,082			24,277	22,000	121,805
	児童福祉事業	377,984	279,128		3,495	14,000	81,361
	母子福祉事業	9,677	4,314			1,000	4,363
	生活保護扶助事業	614,234	486,348		7,501	18,000	102,385
	その他事業	0					
	小　計	1,814,801	1,307,488	0	35,273	71,000	401,040
社会保険	介護保険事業	519,986	41,340			71,000	407,646
	国民健康保険事業	195,102	127,147			10,000	57,955
	国民年金事業	0					
	その他事業	0					
	小　計	715,088	168,487	0	0	81,000	465,601
保健衛生	高齢者医療事業	702,361	92,733			90,207	519,421
	病院事業						
	疾病予防対策事業	47,164	1,654			7,000	38,510
	医療提供体制確保事業	37,590		29,000		1,000	7,590
	その他事業	36,445	7,962		10,000	3,000	15,483
	小　計	823,560	102,349	29,000	10,000	101,207	581,004
合　計		3,353,449	1,578,324	29,000	45,273	253,207	1,447,645

職員数、基金及び地方債残高の推移



令 和 3 年 9 月 24 日

普通会計決算及び財政健全化判断比率の概要（令和２年度決算）

（資料）

1	決算収支 ・・・・・	1
2	歳入決算額 ・・・・・	2
3	歳出（目的別）決算額 ・・・・・	2
4	歳出（性質別）決算額 ・・・・・	3
5	人件費の内訳 ・・・・・	3
6	地方債現在高 ・・・・・	4
7	積立金現在高 ・・・・・	4
8	経常収支比率 ・・・・・	5
9	実質赤字比率 ・・・・・	6
10	連結実質赤字比率 ・・・・・	7
11	実質公債費比率 ・・・・・	8
12	将来負担比率 ・・・・・	9

財政課

1　決算収支

（単位：千円）

年度	歳入総額	歳出総額	形式収支	翌年度 繰越財源	実質収支	単年度収支	積立金	繰上償還額	積立金 取崩し額	実質単年度収支	【参考】 財政力指数 (3ヶ年平均)
	①	②	③=①-②	④	⑤=③-④	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩=⑥+⑦+ ⑧−⑨	
23	19,125,057	18,106,336	1,018,721	122,134	896,587	105,702	403,391	102,681	0	611,774	0.243
24	19,682,936	18,621,841	1,061,095	243,556	817,539	△ 79,048	202,696	348,328	379,472	92,504	0.237
25	22,535,156	21,553,504	981,652	94,326	887,326	69,787	203,628	201,387	0	474,802	0.236
26	21,292,434	20,201,218	1,091,216	204,330	886,886	△ 440	255,608	69,781	175,000	149,949	0.234
27	19,343,610	18,133,320	1,210,290	352,235	858,055	△ 28,831	257,921	45,000	0	274,090	0.234
28	20,483,023	19,528,350	954,673	402,146	552,527	△ 305,528	254,640	0	400,000	△ 450,888	0.236
29	20,971,563	19,970,489	1,001,074	488,598	512,476	△ 40,051	8,397	0	500,000	△ 531,654	0.239
30	21,735,533	21,060,337	675,196	155,343	519,853	7,377	4,422	0	200,000	△ 188,201	0.246
R1	20,656,651	19,879,613	777,038	213,078	563,960	44,107	273,433	0	0	317,540	0.252
R2	24,648,328	23,910,938	737,390	333,010	404,380	△ 159,579	205,363	0	300,000	△ 254,216	0.262

【参考】　　普通会計を構成する会計
　　１．　一般会計
　　　　　同和対策事業特別会計（平成23年度廃止）
　　２．　市立こども診療所特別会計（平成21年度～）
　　　　　畜産開発事業特別会計（平成24年度廃止）
　　　　　長湯温泉観光施設等特別会計（平成21年度まで）
　　３．　長湯温泉療養文化館特別会計（平成22年度から）
　　　　　竹田温泉施設花水月特別会計（平成18年度から平成21年度まで）

令和２年度の実質収支の内訳　（単位：千円）

会計名	歳入総額	歳出総額	形式収支	翌年度繰越財源	実質収支
１．	24,567,922	23,830,824	737,098	333,010	404,088
２．	79,825	79,533	292	0	292
３．	44,191	44,191	0	0	0
普通会計	24,648,328	23,910,938	737,390	333,010	404,380

※普通会計の歳入・歳出総額は、普通会計を構成する会計での、重複分と控除した純計を行っているため、
単純な合計数値とはならない。

用語解説

・ 実質収支
　（趣旨）歳入歳出差引額（形式収支）から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額

・ 単年度収支
　（趣旨）当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額

・ 実質単年度収支
　（趣旨）実質的にその年度が黒字であったか赤字であったかを見る指標
　　　　　単年度収支+財政調整基金積立金額+地方債繰上償還額-財政調整基金取崩し額

2　歳入決算額

（単位：千円、%）

年度	地方税	地方譲与税	各種交付金	地方特例交付金	地方交付税	交通安全対策特別交付金	分担金及び負担金	使用料及び手数料	国県支出金	財産収入	寄付金	繰入金	繰越金	諸収入	地方債	合計	うち自主財源の比率
23	1, 955, 219	305, 088	303, 926	50, 317	9, 176, 346	5, 829	200, 994	502, 811	3, 678, 104	52, 675	52, 543	304, 057	994, 473	244, 469	1, 298, 206	19, 125, 057	22. 5
24	1, 865, 221	287, 018	308, 069	3, 740	9, 562, 733	5, 593	237, 181	507, 159	3, 722, 476	55, 084	18, 374	976, 027	1, 018, 721	258, 608	856, 932	19, 682, 936	25. 1
25	1, 837, 763	274, 670	303, 819	3, 479	9, 193, 263	5, 455	285, 787	517, 256	6, 743, 803	76, 357	11, 296	548, 278	1, 061, 095	274, 342	1, 398, 493	22, 535, 156	20. 5
26	1, 853, 410	263, 438	327, 810	3, 350	9, 019, 890	4, 770	248, 383	542, 264	5, 771, 550	47, 075	7, 230	996, 671	981, 652	259, 685	965, 256	21, 292, 434	23. 2
27	1, 819, 075	275, 018	519, 370	3, 385	8, 981, 918	4, 836	230, 161	528, 315	3, 839, 761	89, 022	27, 399	735, 776	1, 091, 216	383, 302	815, 056	19, 343, 610	25. 4
28	1, 920, 267	273, 607	453, 411	3, 637	8, 582, 422	4, 497	219, 758	507, 714	4, 439, 517	107, 607	45, 440	1, 145, 845	1, 210, 290	535, 610	1, 033, 401	20, 483, 023	27. 8
29	2, 001, 807	273, 334	483, 404	3, 913	8, 146, 144	4, 310	204, 077	512, 422	4, 761, 618	79, 990	49, 508	1, 188, 494	954, 673	322, 109	1, 985, 760	20, 971, 563	25. 3
30	1, 934, 161	278, 502	491, 063	4, 895	7, 586, 461	3, 958	251, 343	513, 421	4, 944, 956	72, 643	246, 428	961, 577	1, 001, 074	350, 259	3, 094, 792	21, 735, 533	24. 5
R1	1, 989, 852	295, 723	445, 086	34, 612	7, 404, 129	3, 678	252, 250	534, 972	4, 706, 846	116, 589	352, 549	1, 028, 488	675, 196	382, 408	2, 434, 273	20, 656, 651	25. 8
R2	1, 949, 831	316, 378	519, 175	15, 906	7, 537, 197	3, 998	247, 317	479, 339	6, 920, 693	112, 750	534, 165	1, 498, 476	777, 038	359, 986	3, 376, 079	24, 648, 328	24. 2

（注）１　各種交付金は、利子割交付金・配当割交付金・株式譲渡等所得割交付金・地方消費税交付金・ゴルフ場利用税交付金・自動車税環境性能割交付金及び法人事業税交付金の合計額である。
（注）２　一般財源等とは、一般財源に一般財源と同様に使用される財源を加算したものである。

3　歳出（目的別）決算額

（単位：千円）

年度	議会費	総務費	民生費	衛生費	労働費	農林水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	諸支出金	前年度繰上充用		合計
23	230, 353	3, 070, 629	4, 637, 467	1, 564, 659	267, 026	1, 737, 474	487, 919	1, 103, 244	642, 813	1, 472, 241	185, 501	2, 707, 010	0	0		18, 106, 336
24	195, 130	3, 005, 561	4, 463, 924	1, 025, 681	68, 739	2, 032, 133	463, 769	902, 171	685, 669	1, 413, 692	1, 622, 871	2, 742, 501	0	0		18, 621, 841
25	182, 705	3, 872, 288	4, 524, 002	1, 220, 133	78, 285	1, 689, 255	459, 239	1, 179, 032	1, 085, 983	1, 330, 503	3, 459, 295	2, 472, 784	0	0		21, 553, 504
26	184, 558	3, 661, 168	4, 688, 479	1, 006, 195	56, 744	2, 027, 004	504, 910	1, 311, 066	1, 226, 827	1, 267, 408	2, 037, 315	2, 229, 544	0	0		20, 201, 218
27	192, 737	3, 286, 772	5, 046, 504	1, 007, 852	46, 510	2, 114, 634	815, 188	985, 313	651, 111	1, 650, 312	235, 994	2, 100, 393	0	0		18, 133, 320
28	177, 027	3, 330, 241	5, 163, 591	1, 254, 428	14, 479	2, 320, 746	510, 161	1, 123, 362	557, 468	2, 434, 036	590, 526	2, 052, 285	0	0		19, 528, 350
29	163, 546	3, 049, 454	4, 739, 613	1, 373, 902	10, 928	2, 338, 721	516, 546	1, 377, 474	617, 889	2, 936, 141	835, 519	2, 010, 756	0	0		19, 970, 489
30	159, 947	3, 329, 356	4, 771, 769	1, 565, 167	10, 419	2, 738, 970	487, 611	1, 586, 307	626, 688	3, 094, 244	783, 364	1, 906, 495	0	0		21, 060, 337
R1	160, 399	3, 358, 864	5, 005, 738	1, 013, 179	15, 258	2, 410, 693	740, 182	1, 334, 906	644, 075	3, 014, 565	410, 313	1, 771, 441	0	0		19, 879, 613
R2	179, 983	5, 664, 435	4, 782, 552	1, 034, 990	9, 593	5, 547, 368	724, 552	990, 086	637, 618	1, 769, 782	778, 429	1, 791, 550	0	0		23, 910, 938

4　歳出（性質別）決算額

（単位：千円）

年度	人件費	人件費のうち職員給	扶助費	公債費	義務的経費 人件費+補助費+公債費	物件費	維持補修費	補助費等	繰出金	投資・出資及び貸付金	積立金	前年度繰上充用金	普通建設事業費	普通建設事業費のうち補助事業費	普通建設事業費のうち単独事業費	災害復旧事業費	合計＝⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫＋⑬＋⑯
	①	②	③	④	⑤＝①+③+④	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬＝⑭+⑮	⑭	⑮	⑯	
23	4, 011, 015	2, 430, 251	1, 957, 044	2, 706, 963	8, 675, 022	2, 423, 496	344, 543	1, 396, 324	1, 681, 399	75, 750	932, 870	0	2, 391, 431	1, 331, 701	1, 059, 730	185, 501	18, 106, 336
24	4, 112, 159	2, 469, 239	2, 067, 495	2, 742, 501	8, 922, 155	2, 491, 991	187, 647	1, 412, 081	1, 728, 874	9, 950	649, 175	0	1, 597, 097	666, 433	930, 664	1, 622, 871	18, 621, 841
25	3, 868, 565	2, 224, 499	2, 098, 357	2, 472, 768	8, 439, 690	2, 539, 837	106, 498	1, 279, 728	1, 797, 545	10, 000	1, 314, 278	0	2, 606, 633	941, 417	1, 665, 216	3, 459, 295	21, 553, 504
26	3, 686, 605	2, 224, 297	2, 175, 731	2, 229, 541	8, 091, 877	2, 669, 491	261, 135	1, 315, 218	1, 846, 955	0	1, 224, 441	0	2, 754, 786	1, 350, 012	1, 404, 774	2, 037, 315	20, 201, 218
27	3, 844, 008	2, 201, 388	2, 173, 643	2, 100, 393	8, 118, 044	2, 751, 036	267, 617	1, 549, 720	2, 006, 290	29, 950	800, 032	0	2, 374, 637	1, 087, 499	1, 287, 138	235, 994	18, 133, 320
28	3, 625, 520	2, 054, 424	2, 452, 014	2, 052, 285	8, 129, 819	2, 914, 088	279, 949	1, 535, 238	1, 849, 221	0	772, 958	0	3, 456, 551	2, 328, 349	1, 128, 202	590, 526	19, 528, 350
29	3, 278, 274	1, 964, 810	2, 377, 945	2, 010, 756	7, 666, 975	2, 979, 530	167, 585	1, 625, 674	1, 797, 237	0	637, 079	0	4, 260, 890	3, 035, 926	832, 699	835, 519	19, 970, 489
30	3, 440, 026	1, 933, 056	2, 324, 619	1, 906, 495	7, 671, 140	3, 140, 051	154, 528	1, 538, 145	1, 771, 835	10, 000	313, 687	0	5, 677, 587	3, 977, 125	1, 700, 462	783, 364	21, 060, 337
1	3, 427, 582	1, 937, 083	2, 343, 564	1, 771, 441	7, 542, 587	3, 322, 776	203, 597	1, 541, 393	1, 776, 114	0	544, 486	0	4, 538, 347	3, 063, 320	1, 475, 027	410, 313	19, 879, 613
2	3, 288, 184	1, 942, 096	2, 406, 094	1, 791, 550	7, 485, 828	3, 755, 559	195, 195	4, 011, 567	1, 784, 762	43, 000	656, 545	0	5, 200, 053	1, 804, 337	3, 395, 716	778, 429	23, 910, 938

5　人件費の内訳（職員等に係るもの）

（単位：千円）

年度	特別職の給与	職員給 ただし、臨時職員給与除く	基本給	給料	扶養手当	地域手当	その他の手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務手当	時間外勤務手当	管理職手当	期末勤勉手当	休日勤務手当	初任給調整手当	退職金	共済組合負担金	災害補償費	合計＝①+②+⑯＋⑰＋⑱
	①	②＝③+⑦	③＝④+⑤+⑥	④	⑤	⑥	⑦＝⑧+⑨+⑩+⑪＋⑫＋⑬＋⑭+⑮	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	
23	25, 126	2, 425, 500	1, 663, 266	1, 601, 915	61, 351	0	762, 234	26, 349	29, 147	2, 012	70, 250	12, 970	618, 244	3, 262	0	453, 775	647, 969	2, 848	3, 555, 218
24	25, 126	2, 465, 425	1, 630, 099	1, 569, 226	59, 908	965	835, 326	27, 594	29, 362	3, 014	147, 289	18, 600	601, 931	3, 150	4, 386	543, 945	600, 047	3, 806	3, 638, 349
25	26, 558	2, 221, 076	1, 490, 168	1, 432, 193	56, 879	1, 096	730, 908	28, 113	27, 358	2, 892	78, 253	17, 866	568, 966	3, 074	4, 386	579, 863	553, 989	2, 602	3, 384, 088
26	26, 480	2, 224, 297	1, 492, 817	1, 437, 810	53, 911	1, 096	731, 480	27, 195	26, 949	3, 036	75, 027	19, 459	571, 636	3, 232	4, 946	359, 317	542, 152	3, 200	3, 155, 446
27	26, 564	2, 201, 388	1, 462, 620	1, 405, 880	55, 641	1, 099	738, 768	28, 054	26, 301	2, 984	68, 194	19, 663	585, 332	3, 280	4, 960	515, 928	522, 481	3, 882	3, 270, 243
28	26, 756	2, 054, 424	1, 360, 911	1, 306, 002	53, 810	1, 099	693, 513	26, 118	23, 641	4, 616	65, 612	17, 349	551, 211	0	4, 966	515, 671	445, 430	2, 724	3, 045, 005
29	31, 203	1, 964, 810	1, 286, 784	1, 222, 551	63, 133	1, 100	678, 026	24, 282	24, 473	3, 539	72, 825	16, 652	527, 910	3, 373	4, 972	236, 846	438, 660	2, 596	2, 674, 115
30	30, 732	1, 933, 056	1, 260, 894	1, 199, 306	60, 487	1, 101	672, 162	24, 341	26, 458	3, 271	64, 533	16, 462	528, 726	3, 393	4, 978	420, 006	430, 856	2, 562	2, 817, 212
R1	30, 848	1, 937, 083	1, 262, 100	1, 205, 355	55, 601	1, 144	674, 983	23, 758	27, 499	4, 089	66, 023	16, 742	528, 413	3, 481	4, 978	420, 633	430, 730	2, 545	2, 821, 839
R2	30, 730	1, 942, 096	1, 269, 792	1, 217, 442	51, 198	1, 152	672, 304	23, 496	25, 793	4, 773	66, 441	15, 604	527, 677	3, 542	4, 978	284, 981	432, 017	2, 412	2, 692, 236

（注）１　退職金は、平成19年度以前は退職手当組合負担金で平成20年度以降は退職手当
（注）２　児童手当及び子ども手当は、平成22年度決算より扶助費扱いとなったためここには含めない。
（注）３　地域手当及び初任給調整手当は診療所に勤務する医師

【参考】

一般職員等の推移：基準日4月1日

年度	普通会計	その他の会計	定員管理	ラスパイレス指数
17	487	35	522	99.3
18	482	34	516	95.2
19	459	36	495	95.8
20	440	37	477	97.3
21	424	36	460	97.5
22	402	33	435	98.7
23	396	33	429	100.4
24	388	33	421	108.5 (参考値：100.2)
25	377	33	410	108.7 (参考値：100.4)
26	358	32	390	98.4
27	346	32	378	99.3
28	330	32	362	100.5
29	320	32	352	99.7
30	317	31	348	99.8
1	316	30	346	99.5
2	306	29	335	99.8
3	302	29	331	

【令和２年度決算の概況】

令和２年度普通会計決算の歳出総額は前年度に比べ、40億3,132万5千円増加（増加率25.0%）しました。これは新型コロナウィルス感染症に関連した支出が増加したもので、特別定額給付金21億1,040万円、小規模事業者等経営維持支援（新型コロナウィルス対策）7,195万9千円、プレミアム付商品券事業費4,000万円、竹田市事業継続支援金5,583万円などが主な増加要因です。

財政硬直化の目安とされる義務的経費（人件費、扶助費及び公債費）は、前年度に比べ5,675万9千円（減少率0.8%）減少しました。任期付職員の人件費の増加はあったものの、任期の定めのない常勤職員数の減少等により人件費は1億3,939万8千円減少しています。扶助費は6,253万円、公債費は2,010万9千円の増加となっています。

義務的経費の歳出総額に占める構成割合は31.3%で昨年度から0.8ポイント減少しました。

普通建設事業費は、6億6,170万6千万円増加しました。前年度実施した幼保連携型こども園（荻認定こども園）整備事業、城下町交流プラザ整備事業、歴史資料館建設事業などがそれぞれ減少したものの、大蘇ダム関連事業の大野川上流開発事業、県営中山間地域総合整備事業（大野川上流分）、菅生野菜集出荷施場建設事業などが主な増加の要因です。

歳入総額は246億4,832万8千円となっています。地方交付税は、普通交付税が合併算定替の段階的縮小の影響もあり減少傾向にありますが、地域社会再生事業費の創設などにより5,893万8千円の増加（増加率0.9%）となっています。特別交付税においては、令和２年７月豪雨による重点配分の影響等もあり7,413万円の増加（増加率8.1%）となっています。交付税総額では1億3,306万8千円の増加（増加率1.8%）となりました。

経常経費充当一般財源が1011万3千円増加（経常一般財源も7,449万3千円増加）したことにより、経常収支比率は前年度より0.6ポイント改善し、96.2%となりました。健全化判断比率における指標はすべて早期健全化基準を大きく下回っており、概ね良好となっています。

※主な普通建設事業費
　補助事業
　　菅生野菜集出荷場建設事業　2億8,245万8千円、公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業　5,910万4千円
　単独事業
　　国営大野川上流土地改良事業　27億6,064万6円、県営中山間地域総合整備事業（大野川上流分）2億2,566万1千円

6　地方債現在高

（単位：千円、％）

年度	地方債現在高	うち公共事業等	うち災害復旧事業	うち旧合併特例事業	うち過疎対策事業	うち臨時財政対策債	標準財政規模	現債高倍率	住民基本台帳人口	1人あたりの現在高
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧＝①/⑦	⑨	⑩＝①/⑨
23	20,217,243	320,364	283,971	5,569,899	4,169,946	5,922,446	11,386,810	1.78	24,623	821
24	18,594,026	235,354	280,765	5,245,294	3,516,176	5,962,103	11,307,013	1.64	24,392	762
25	17,751,795	177,450	310,382	5,426,226	2,939,681	6,288,586	11,238,353	1.58	24,074	737
26	16,687,090	133,849	262,381	5,028,915	2,494,640	6,560,566	11,013,541	1.52	23,570	708
27	15,577,005	109,724	219,213	4,666,699	2,096,720	6,751,919	11,036,879	1.41	23,114	674
28	14,700,373	85,926	209,309	4,588,649	1,719,793	6,763,687	10,501,556	1.40	22,812	644
29	14,790,230	62,826	198,983	5,254,145	1,609,639	6,728,734	10,147,840	1.46	22,421	660
30	16,074,846	43,225	196,698	6,770,095	1,706,015	6,616,339	9,671,418	1.66	21,886	734
R1	16,818,350	29,544	167,864	7,327,758	2,046,425	6,367,694	9,447,077	1.78	21,386	786
R2	18,464,143	421,198	245,910	8,120,273	2,416,533	6,081,804	9,625,571	1.92	20,855	885

7　基金現在高

（単位：千円、％）

年度	積立金現在高	うち財政調整基金	うち減債基金	うち特定目的基金	特定目的基金のうち公共施設等総合管理基金	特定目的基金のうち大野川上流償還負担金基金	特定目的基金のうち地域振興基金	定額運用基金	標準財政規模	財政調整用基金の現債高倍率
	①＝②+③+④	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩＝（②+③）/⑨
23	9,181,835	3,654,246	399,637	5,127,952	646,132	710,382	2,183,200	173,813	11,386,810	0.36
24	8,858,841	3,477,470	341,328	5,040,043	569,578	710,755	2,183,200	172,187	11,307,013	0.34
25	9,626,458	3,681,098	376,414	5,568,946	862,032	711,103	2,183,200	172,190	11,238,353	0.36
26	9,858,652	3,761,706	519,575	5,577,371	909,235	711,556	2,183,200	168,193	11,013,541	0.39
27	9,925,298	4,019,627	592,055	5,313,616	1,021,139	711,871	2,183,200	166,195	11,036,879	0.42
28	9,552,575	3,874,267	746,299	4,932,009	856,934	716,242	2,183,200	166,196	10,501,556	0.44
29	9,001,386	3,382,664	717,919	4,900,803	873,096	717,797	2,183,200	171,416	10,147,840	0.40
30	8,354,835	3,187,086	768,859	4,398,890	491,816	718,738	2,183,200	166,196	9,671,418	0.40
R1	7,870,842	3,460,519	522,100	3,888,223	157,084	721,767	2,183,200	166,196	9,447,077	0.42
R2	7,029,323	3,365,882	422,897	3,240,544	165,208	0	2,183,200	166,197	9,625,571	0.39

８　経常収支比率

（単位：千円、％）

年度	分子（④＋⑤＋⑥＋⑦+⑧） 歳出・経常一般財源									分母（⑩） 歳入・経常一般財源			経常 収支 比率
	人件費	公債費	扶助費	義務的経費 計	物件費	維持補修費	補助費等	繰出金	経常 一般財源 ⑨	うち 地方税	うち 普通交付税	経常 一般財源 ⑩	
	①	②	③	④＝ ①+②+③	⑤	⑥	⑦	⑧		－	－		
23	3,644,383	2,546,691	548,592	6,739,666	1,402,968	162,285	623,106	1,324,723	10,252,748	1,932,743	8,191,132	11,422,537	89.8
24	3,710,550	2,329,610	629,223	6,669,383	1,441,877	176,867	695,101	1,353,086	10,336,314	1,844,380	8,183,597	11,256,231	91.8
25	3,461,275	2,208,417	594,381	6,264,073	1,476,519	73,512	651,558	1,324,663	9,790,325	1,817,327	8,157,708	11,197,236	87.4
26	3,243,135	2,101,804	558,334	5,903,273	1,534,762	147,644	693,016	1,354,966	9,633,661	1,832,978	7,995,419	11,032,468	87.3
27	3,393,105	1,998,557	600,088	5,991,750	1,633,350	196,240	727,576	1,337,847	9,886,763	1,799,361	7,968,502	11,132,711	88.8
28	3,187,106	1,999,145	739,552	5,925,803	1,735,989	179,890	754,066	1,289,089	9,884,837	1,900,114	7,538,063	10,601,322	93.2
29	2,912,972	1,959,639	667,999	5,540,610	1,784,034	117,941	719,776	1,285,083	9,447,444	1,982,345	7,132,757	10,301,434	91.7
30	3,066,174	1,856,711	731,703	5,654,588	1,694,522	84,053	667,550	1,336,459	9,437,172	1,915,143	6,637,132	9,719,439	97.1
1	3,001,685	1,729,897	673,856	5,405,438	1,722,475	68,143	647,509	1,385,483	9,229,048	1,970,553	6,490,396	9,533,430	96.8
2	2,978,997	1,760,066	645,293	5,384,356	1,713,963	133,613	667,289	1,339,940	9,239,161	1,930,130	6,549,334	9,607,923	96.2

（単位：％）

年度	経常収支比率算入額									経常一般財源 に占める割合	
	人件費	公債費	扶助費	義務的経費 計	物件費	維持補修費	補助費等	繰出金	経常収支比率	地方税	普通交付税
23	31.9	22.3	4.8	59.0	12.3	1.4	5.5	11.6	89.8	16.9	71.7
24	33.0	20.7	5.6	59.3	12.8	1.6	6.2	12.0	91.8	16.4	72.7
25	30.9	19.7	5.3	55.9	13.2	0.7	5.8	11.8	87.4	16.2	72.9
26	29.4	19.1	5.1	53.5	13.9	1.3	6.3	12.3	87.3	16.6	72.5
27	30.5	18.0	5.4	53.8	14.7	1.8	6.5	12.0	88.8	16.2	71.6
28	30.1	18.9	7.0	55.9	16.4	1.7	7.1	12.2	93.2	17.9	71.1
29	28.3	19.0	6.5	53.8	17.3	1.1	7.0	12.5	91.7	19.2	69.2
30	31.5	19.1	7.5	58.2	17.4	0.9	6.9	13.8	97.1	19.7	68.3
R1	31.5	18.1	7.1	56.7	18.1	0.7	6.8	14.5	96.8	20.7	68.1
R2	31.0	18.3	6.7	56.0	17.8	1.4	6.9	13.9	96.2	20.1	68.2

用語解説

・ 経常収支比率

（趣旨）人件費・扶助費及び公債費などの経常経費に、地方税・普通交付税を中心とした経常一般財源がどの程度充当されたかを見る指標で、この比率が低いほど、普通建設事業費などの臨時経費に充当できる一般財源があり、財政構造が弾力性に富んでいることになります。

（算式）

$$\frac{\text{経常経費充当の一般財源額等}}{\text{経常一般財源等総額+臨時財政対策債}} \times 100\%$$

9　実質赤字比率

（単位：千円、%）

年度	分子	分母	実質赤字比率	
	実質収支額	標準財政規模	実質赤字額（正の数）による比率	実質黒字額（負の数）による比率
	①	②	①／②	
23	896,587	11,386,810	—	△ 7.87
24	817,539	11,307,013	—	△ 7.23
25	887,326	11,238,353	—	△ 7.89
26	886,886	11,013,541	—	△ 8.05
27	858,055	11,036,879	—	△ 7.77
28	552,527	10,501,556	—	△ 5.26
29	512,476	10,147,840		△ 5.05
30	519,853	9,671,418	—	△ 5.37
R1	563,960	9,447,077	—	△ 5.96
R2	404,380	9,625,571	—	△ 4.20

【参考】	R2実質収支額
一般会計	404,088
市立こども診療所特別会計	292
長湯温泉療養文化館特別会計	0
計	404,380

用語解説

- 実質赤字比率

（趣旨）一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率。

（算式）

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額（正の値）}}{\text{標準財政規模}}$$

- 早期健全化基準

現行の地方債協議・許可制における許可制移行基準（２．５%～１０%）と財政再生基準（２０%）との中間の値をとり、市町村については財政規模に応じ１１．２５%～１５%となっている。

なお、平成２０年度決算から、早期健全化基準以上の場合には、財政健全化計画を定めなければならない。

- 財政再生基準

起債制限基準の値（２０%）となっている。

なお、平成２０年度決算から、財政再生基準以上の場合には、財政再生計画を定めなければならない。

10　連結実質赤字比率

（単位：千円、％）

年度	分子				分母	連結実質赤字比率	
	一般会計等の実質収支額	公営事業会計の実質収支額	資金不足額又は資金剰余額	計	標準財政規模	連結実質赤字額（正の数）による比率	連結実質黒字額（負の数）による比率
	①	②	③	④＝①＋②＋③	⑤	④／⑤	
23	896,587	15,391	271,605	1,183,583	11,386,810	―	△ 10.39
24	817,539	253,798	274,953	1,346,290	11,307,013	―	△ 11.90
25	887,326	109,572	287,876	1,284,774	11,238,353	―	△ 11.43
26	886,886	168,173	271,406	1,326,465	11,013,541	―	△ 12.04
27	858,055	131,244	259,524	1,248,823	11,036,879	―	△ 11.31
28	552,527	281,967	270,080	1,104,574	10,501,556	―	△ 10.51
29	512,476	282,523	268,983	1,063,982	10,147,840		△ 10.48
30	519,853	224,411	306,912	1,051,176	9,671,418	―	△ 10.86
R1	563,960	110,423	317,177	991,560	9,447,077	―	△ 10.49
R2	404,380	57,430	330,713	792,523	9,625,571	―	△ 8.23

【参考】

一般会計等	R2実質収支額
一般会計	404,088
市立こども診療所特別会計	292
長湯温泉療養文化館特別会計	0
計	404,380

保険等事業会計	R2実質収支額
国民健康保険特別会計	39,476
後期高齢者医療特別会計	577
介護保険特別会計	17,377
計	57,430

公営企業（法適用）	R2資金剰余額
水道事業会計	330,428

公営企業（法非適用）	R2実質収支額
簡易水道事業特別会計	155
農業集落排水事業特別会計	41
浄化槽整備推進事業特別会計	89
国民宿舎久住高原荘事業特別会計	0
計	285

合計	792,523

用語解説

・ 連結実質赤字比率

（趣旨）全会計を対象とした実質赤字（又は資金不足額）の標準財政規模に対する比率。

（算式）連結実質赤字比率　＝　$\dfrac{\text{連結実質赤字額（正の値）}}{\text{標準財政規模}}$

※　連結実質赤字額とは、各会計毎の実質赤字額及び資金不足額の合計額から実質黒字額及び資金剰余額の合計額を控除した額。

・ 早期健全化基準

実質赤字比率の早期健全化基準（１１．２５％～１５％）に、公営企業会計等における経営健全化等を踏まえ５％を加算した値で、市町村については財政規模に応じ、１６．２５％～２０％となっている。

なお、平成２０年度決算から、早期健全化基準以上の場合には、財政健全化計画を定めなければならない。

・ 財政再生基準

実質赤字比率の財政再生基準（２０％）に１０％を加算した値（３０％）となっている。

なお、平成２０年度決算から、早期健全化基準以上の場合には、財政健全化計画を定めなければならない。

11　実質公債費比率

（単位：千円、%）

年度	分子			分母			実質公債費比率			
	①元利償還金の額（繰上償還を除く） ②積立不足額を考慮して算定した額 ③満期一括償還地方債１年当たり元金償還金相当額 ④公営企業債償還財源繰入額 ⑤一部事務組合等地方債への補助・負担金 ⑥公債費に準じる債務負担行為 ⑦一時借入金利子 ⑧特定財源の額 ⑨事業費補正算入公債費 ⑩事業費補正算入公債費（準元利償還金） ⑪災害復旧費等に係る基準財政需要額 ⑫災害復旧費等に係る基準財政需要額（準元利償還金） ⑬密度補正に係る基準財政需要額 ⑭密度補正準元利償還金 （①＋②＋③＋④＋⑤＋⑥+⑦）－（⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭）			⑨事業費補正算入公債費 ⑩事業費補正算入公債費（準元利償還金） ⑪災害復旧費等に係る基準財政需要額 ⑫災害復旧費等に係る基準財政需要額（準元利償還金） ⑬密度補正に係る基準財政需要額 ⑭密度補正準元利償還金 ⑮標準税収入額等 ⑯普通交付税額 ⑰臨時財政対策債発行可能額 （⑮+⑯+⑰）－（⑨＋⑩+⑪+⑫+⑬+⑭）			単年度			３か年平均
	当該年度-2	当該年度-1	当該年度	当該年度-2	当該年度-1	当該年度	当該年度-2	当該年度-1	当該年度	当該年度
23	960,955	845,688	708,958	8,931,918	9,710,955	9,393,510	10.7	8.7	7.5	**9.0**
24	845,688	708,958	568,558	9,710,955	9,393,510	9,353,399	8.7	7.5	6.0	**7.4**
25	708,958	568,558	487,220	9,393,510	9,353,399	9,335,412	7.5	6.0	5.2	**6.2**
26	568,558	487,220	403,079	9,353,399	9,335,412	9,109,890	6.0	5.2	4.4	**5.2**
27	487,220	403,079	369,357	9,335,412	9,109,890	9,220,973	5.2	4.4	4.0	**4.5**
28	403,079	369,357	419,489	9,109,890	9,220,973	8,741,700	4.4	4.0	4.7	**4.4**
29	369,357	419,489	409,490	9,220,973	8,741,700	8,415,746	4.0	4.7	4.8	**4.5**
30	419,489	409,490	373,451	8,741,700	8,415,746	8,050,720	4.7	4.8	4.6	**4.7**
R1	409,490	373,451	319,817	8,415,746	8,050,720	7,911,161	4.8	4.6	4.0	**4.5**
R2	373,451	319,817	347,831	8,050,720	7,911,161	8,087,901	4.6	4.0	4.3	**4.3**

用語解説

・ 実質公債費比率

（趣旨）一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率。

（算式）

実質公債費比率　＝　分子／分母 の３か年平均

分子：（①+②+③+④+⑤+⑥+⑦）－（⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭）
（元利償還金＋準元利償還金）－（特定財源＋元利償還金及び準元利償還金に係る基準財政需要額算入額）

分母：標準財政規模－（元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額）
（⑮+⑯＋⑰）－（⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭）

・ 早期健全化基準

現行の地方債協議・許可制において一般単独事業の許可が制限される基準（２５％）。
なお、平成２０年度決算から、早期健全化基準以上の場合には、財政健全化計画を定めなければならない。

・ 財政再生基準

現行の地方債協議・許可制における公共事業等の許可が制限される基準（３５％）。
なお、平成２０年度決算から、財政再生基準以上の場合には、財政再生計画を定めなければならない。

※基礎数値

年度	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
17	2,895,593	0	0	72,345	0	23,964	1,930	123,492	530,404	21,309	1,253,227	372	0	17,935	2,799,581	7,191,889	589,538
18（19年度算定数値）	2,840,844	0	0	120,181	0	23,964	1,604	108,673	531,627	3,807	1,202,788	66,580	0	18,362	2,845,050	7,036,642	515,613
19（19年度算定数値）	2,922,117	0	0	125,785	0	20,376	1,979	113,838	487,882	1,339	1,297,309	63,666	0	19,713	2,801,493	6,915,146	467,822
18（20年度算定数値）	2,840,844	0	0	109,031	0	23,964	1,604	108,660	531,627	3,807	1,202,788	66,580	0	18,362	2,845,050	7,036,642	515,613
19（20・21年度算定数値）	2,921,910	0	0	115,175	0	20,376	1,979	113,630	487,882	1,339	1,297,309	63,666	0	19,713	2,801,493	6,915,146	467,822
20	2,764,417	0	0	122,378	0	12,455	0	101,322	428,363	50	1,318,877	64,235	0	20,252	2,750,788	7,177,293	438,190
21	2,753,282	0	0	138,859	0	42,571	0	110,088	360,122	2,993	1,423,066	60,070	0	17,418	2,629,760	7,485,757	680,070
22	2,689,521	0	0	139,909	0	39,506	747	107,838	342,145	8,693	1,493,129	52,360	0	19,830	2,527,475	8,237,437	862,200
23	2,604,282	0	0	139,585	0	36,924	0	78,533	329,820	13,122	1,583,617	47,202	0	19,539	2,568,272	8,191,132	627,406
24	2,394,173	0	0	177,157	0	34,664	0	83,822	322,497	31,928	1,539,107	39,685	0	20,397	2,505,584	8,183,597	617,832
25	2,271,381	0	0	163,953	0	35,262	0	80,435	311,839	33,787	1,503,100	33,265	0	20,950	2,451,752	8,157,708	628,893
26	2,159,760	0	0	189,306	0	35,670	0	78,006	300,268	35,163	1,514,355	33,034	0	20,831	2,419,766	7,995,419	598,356
27	2,055,393	0	0	171,617	0	34,803	0	76,550	259,021	36,248	1,471,777	28,068	0	20,792	2,512,221	7,968,502	556,156
28	2,052,285	0	0	166,012	0	34,341	0	73,293	187,727	36,194	1,485,810	28,552	0	21,573	2,546,392	7,538,063	417,101
29	2,010,756	0	0	166,468	0	34,939	0	70,579	189,142	36,016	1,461,199	24,268	0	21,469	2,604,023	7,132,757	411,060
30	1,906,495	0	0	151,733	0	0	0	64,079	103,896	35,905	1,437,157	22,085	0	21,655	2,662,094	6,637,132	372,192
R1	1,771,441	0	0	137,176	0	0	0	52,884	70,983	35,749	1,387,654	19,900	0	21,630	2,684,008	6,490,396	272,673
R2	1,791,550	0	0	136,706	0	0	0	42,755	37,114	35,476	1,425,068	18,299	0	21,713	2,811,529	6,549,334	264,708

12　将来負担比率

（単位：千円、%）

年度	分子（①+②+③+④+⑤+⑥+⑦−⑧−⑨−⑩）											分母（⑪−⑫）			将来負担比率
	地方債の現在高 ①	債務負担行為支出予定額 ②	公営企業債等繰入見込額 ③	組合等負担等見込額 ④	退職手当負担見込額 ⑤	土地開発公社負担見込額 ⑥	第三セクター等負担見込額 ⑦	充当可能基金 ⑧	充当可能特定歳入 ⑨	基準財政需要額歳入見込額 ⑩	計	標準財政規模 ⑪	算入公債費等の額 ⑫	計	
23	20,217,243	2,524,729	1,797,304	0	4,396,557	0	9,581	7,078,106	519,213	17,158,946	4,189,149	11,386,810	1,993,300	9,393,510	44.5
24	18,594,026	2,741,769	1,721,642	0	4,193,599	0	7,085	6,743,993	518,343	16,207,395	3,788,390	11,307,013	1,953,614	9,353,399	40.5
25	17,751,795	2,671,472	1,639,385	0	3,910,242	0	466	7,602,748	447,948	15,733,296	2,189,368	11,238,353	1,902,941	9,335,412	23.4
26	16,687,090	2,639,688	1,618,348	0	3,601,220	0	229	8,154,165	389,978	14,921,679	1,080,753	11,013,541	1,903,651	9,109,890	11.8
27	15,577,005	2,568,539	1,388,227	0	3,198,634	0	0	8,323,337	282,501	13,904,843	221,724	11,036,879	1,815,906	9,220,973	2.4
28	14,700,373	2,352,651	1,291,309	0	2,880,820	0	0	7,964,805	250,030	13,252,242	△ 241,924	10,501,556	1,759,856	8,741,700	△ 2.7
29	14,790,230	2,317,907	1,235,174	0	3,094,493	0	0	7,557,290	199,884	13,178,777	501,853	10,147,840	1,732,094	8,415,746	5.9
30	16,074,846	2,317,907	1,217,386	0	2,776,929	0	0	7,292,165	157,812	14,086,574	850,517	9,671,418	1,620,698	8,050,720	10.5
R1	16,818,350	2,317,907	1,147,362	0	2,652,680	0	0	5,771,489	94,564	14,146,107	2,924,139	9,447,077	1,535,916	7,911,161	36.9
R2	18,464,143	0	1,028,719	0	2,565,503	0	0	4,931,541	75,813	15,032,686	2,018,325	9,625,571	1,537,670	8,087,901	24.9

用語解説

- 将来負担比率
  （趣旨）一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率。
  （算式）　将来負担比率　＝　$\dfrac{\text{将来負担額－（充当可能基金＋特定財源見込額＋地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額）}}{\text{標準財政規模－（元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額）}}$

- 早期健全化基準
  実質公債費比率の早期健全化基準（２５％）に相当する将来負担額の水準と平均的な地方債の償還年数を勘案した値（３５０％）。
  なお、平成２０年度決算から、早期健全化基準以上の場合には、財政健全化計画を定めなければならない。